

意見具申 構成(案)

第1章 様々な障害特性等に配慮した情報バリアフリーの充実に向けて

1 法令等の規定

2 情報面での障害特性等と必要な配慮の例

- (1) 視覚障害(全盲、弱視、色弱)
- (2) 聴覚障害(ろう、難聴)、音声・言語・そしゃく障害
- (3) 知的障害、発達障害、精神障害
- (4) 肢体不自由
- (5) 内部障害、難病患者
- (6) 高齢者
- (7) 乳幼児連れ、子供、妊産婦
- (8) 外国人

3 都の主な施策

4 国の主な施策・動向等

5 今後に向けた方向性

- (1) 現在の状況
- (2) 目指す将来像

- I 施設が提供する情報コンテンツの充実及び情報アクセシビリティの確保
- II 地域のバリアフリーマップの都内全域への波及
- III 必要な情報を効率的に収集できるインターネット環境の整備
- IV 施設における多様な情報伝達手段の整備促進
- V 街なかでの様々な障害特性等に配慮した案内サインの充実
- VI イベントや会議等における情報保障の充実
- VII 災害時等における要配慮者への情報提供体制の整備

第2章 思いやりの心を醸成するための心のバリアフリーの推進に向けて

1 法令等の規定

2 公共空間で課題があると想定される事例

3 都の主な施策

4 国の主な施策・動向等

5 今後に向けた方向性

(1)現在の状況

(2)目指す将来像

I 子供へのユニバーサルデザイン教育等の都内全域への波及

II 地域住民へのユニバーサルデザインワークショップ等の都内全域への波及

III 事業者での接遇向上研修の普及促進

IV 福祉のまちづくりサポーター等養成の都内全域への波及

V 施設・設備の適正利用や障害者等の理解促進に向けた普及啓発の強化